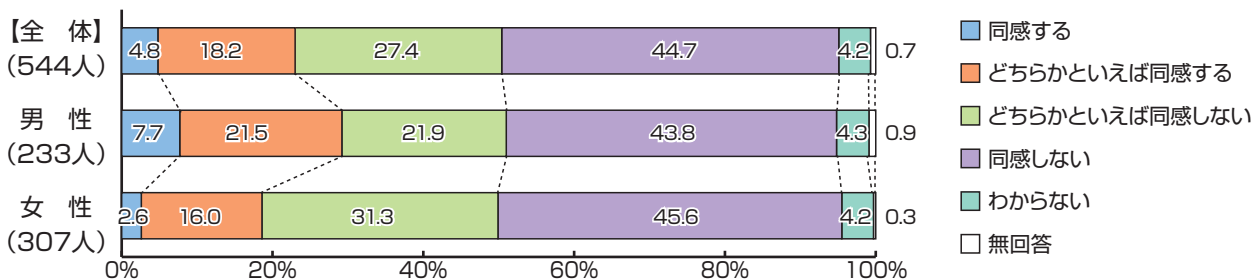


知っここ！男女共同参画②

本格的な夏がやってきました。毎日暑いですね♪ 熱中症に気を付けて、水分補給はこまめに取りましょう。さて、今月号の男女共同参画は、市民意識調査のアンケート結果からみる、家庭生活での男女共同参画に対する意識についてお知らせします。皆さんのご家庭での夫婦の役割はどのくらい出来ていますか？

『男は仕事 女は家庭』の考え方について

○問6「男は仕事、女は家庭」という考えがありますが、あなたはこの考えに同感しますか。

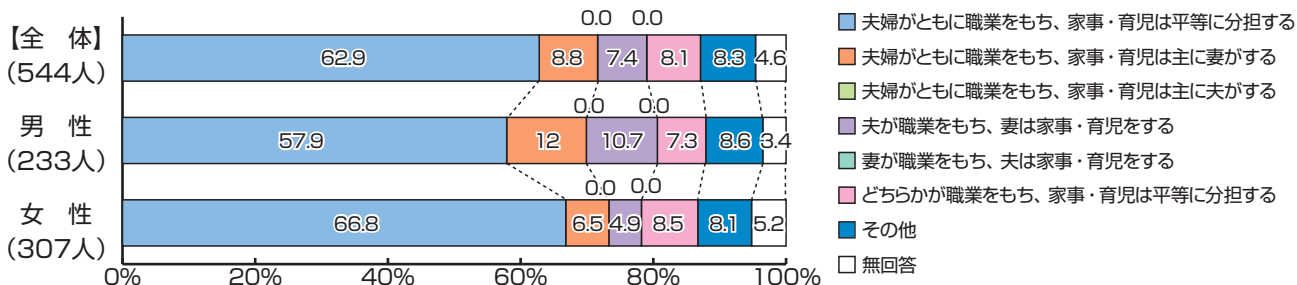


推察▶ 「同感しない」「どちらかといえば同感しない」が、潮来市は茨城県男女共同参画意識調査の結果を上回り（県調査：男性48.4%、女性57.1%）、全体的に役割分担意識が高い結果となった。しかし、同様の調査を行なった平成13年度調査と比較すると、意識改革が進んでいないことが伺える。特に40歳以上の男性に依然として固定的な役割分担意識の考え方が強い傾向にある。

年代別で調査した結果、50～59歳の女性で「同感しない」が高かった。これは、親の介護や自分自身の体調変化等もかさなり、仕事も重要なポジションになるなど、心身共に負担がかかる年齢になっていることが要因かと思われる。また、18～29歳と30～39歳の男性については、役割分担意識が高い結果だったので、潮来市の男女共同参画社会の実現に向けた気運が高まっていると思われる。

『家庭における夫婦の役割分担について』

○問8「家庭における夫婦の役割分担」について、あなたはどうかあるべきだと思いますか。



推察▶ 家庭における夫婦の役割分担意識が高いと思われる。多くの方が選択した「夫婦がともに職業をもち、家事・育児は平等に分担する」では、男性は18～29歳が82.8%で最も多く、女性は30～39歳が80.0%で最も多かった。

現在、女性の就業率や共働き世帯が増加している。互いに仕事を担ううえで夫婦の役割分担が必要となってきている。家族誰もが家事・育児・介護等に関わり協力し合う家庭が望ましいと考えており、その実現に向け、一人ひとりの個人や地域、職場などでの取り組みが大切になってきている。



アンケート結果は
市HPをご覧ください。